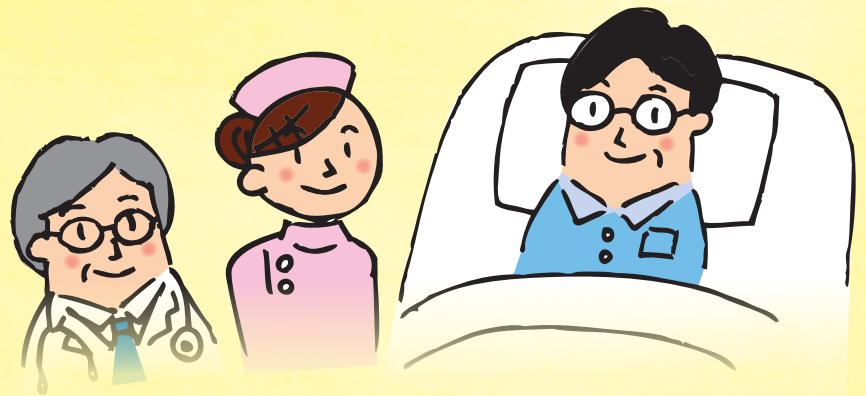


EW-HD
SYSTEM

Electrolyzed Water(H₂)-HD System

電解水透析[®] 個人用透析用水作製装置



電解水透析[®]で
患者様のQOLの改善を。



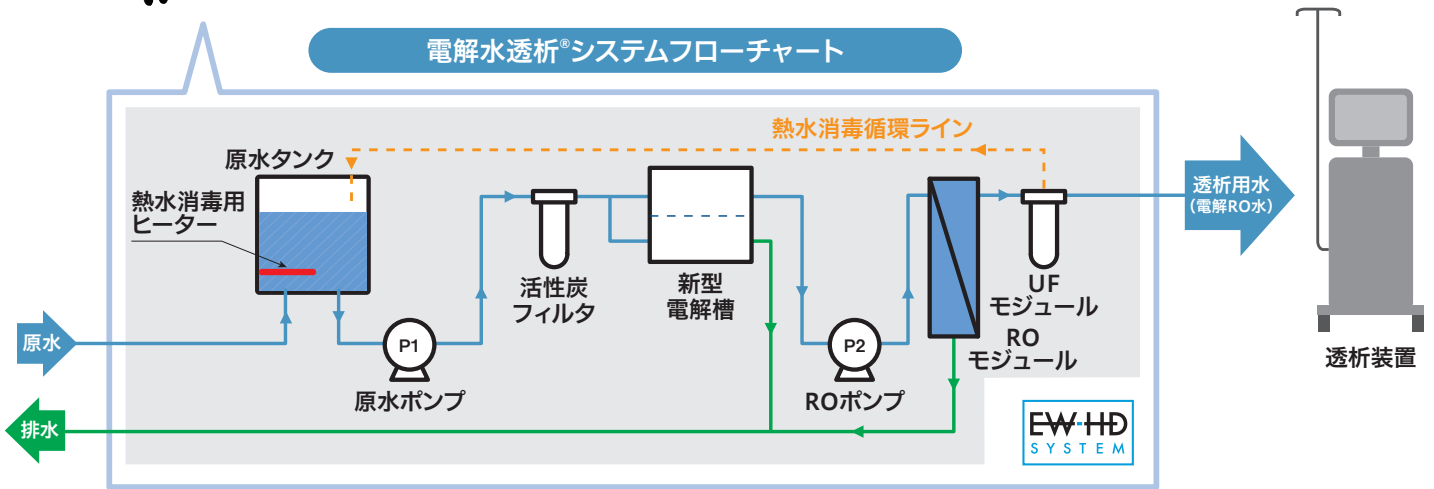
電解水透析[®] 個人用透析用水作製装置

Electrolyzed Water(H₂)-HD System

新型電解槽により、設置環境による影響をうけることなく、中性の溶存水素水の生成を実現。

電解水透析[®]は、血液透析において大量に使用される「水」の性質に着目した新しいシステムです。現在、抗酸化能を持つと注目され、かつ精力的に研究されている「水素(H₂)」。私たちは1995年から電気分解により生成される、分子状水素(H₂)を含有する電解RO水を生成するシステム(国内外特許取得)の研究開発を行い、「より良い透析」を求め新しいコンセプトの個人用透析用水作製装置を開発しました。

電解水透析[®]システムフローチャート



電解RO水 (RO処理後の電解透析水) と電解水透析液

電解RO水の水質

ISO13959が規定する透析用水の基準を満たしていることを確認しています。

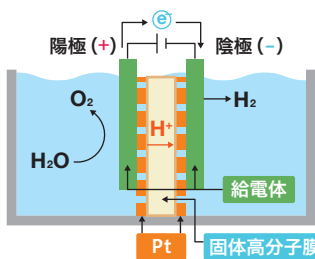
電解水透析液と通常透析液の比較

電解質濃度、ブドウ糖濃度、pHにおいて両者に差はなく、溶存水素濃度に違いがあることを確認しています。

新しい電解水透析システムの特徴

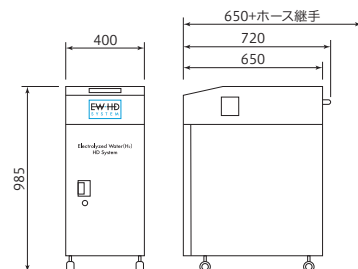
新電気分解方式

新設計の電解ユニットは水を電気分解することでpHの変動なく分子状水素(H₂)を原水中に溶解します。



装置サイズ & 仕様・諸元

項目	仕様・諸元			
定格電圧	単相 100V±10V			
定格消費電力	1,100W			
電解RO水作成能力	500mL/min (1床用)			
原水条件	水圧	0.1～0.3MPa	全硬度	40ppm以下
	水量	1.8L/min	シリカ	25ppm以下
	水温	10～35℃		
回収率	45% (RO膜50%,電解槽90%)			
濾過機器	・活性炭フィルタ 1本 ・RO膜モジュール 2本 ・UF膜モジュール 1本			
配管接続部	・原水入口径 Rc1/2 ・排水出口径 Rc1/2 ・透過水出口径 Rc1/4			
運転方式	・単独運転 ・連動運転 (24V電位差,接点信号)			
清浄度維持機能	・熱水消毒機能 (75℃ 35分 (Ao値600以上)) ・薬液消毒機能 (サービスマン専用機能)			



東北大学とのジョイントベンチャー
株式会社トリムメディカルインスティテュート
 (株式会社日本トリムグループ)
 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-22
 ハービスENTオフィスタワー 22F
 TEL.06-6455-3909 FAX.06-6455-3953